

図書館だより

武雄高等学校図書館 図書指導部

令和3年10月18日発行

NO. 6

秋本番！

さわやかな秋晴れの続く今日此頃。日増しに秋の深まりを感じる季節となりました(*´▽`*)
今回は、2年生の図書委員が「クラス読書会」・「芸術鑑賞会」の案内をします(*´▽`)
上手にまとめてくれています。ぜひ、チェックしてみてください。



10月26日(火)芸術鑑賞会について

今年度予定していた演劇

「ヘレンケラー ～ひびき合うものたち～」(東京演劇集団「風」)は、
来年度に延期になり、佐賀東高校演劇部による

『太陽の羅針盤 (演劇)』の鑑賞を

10月26日(火)に1・2年生の各教室にて行います。



～未来のきみへ 100年目のメッセージ～

ある日はじめて、蒸気機関車が走った。

高輪築堤。海の上を走る一番列車。大隈重信の「志」
は未来に向かっていった。

あなたがいなくなって100年目。いまこそ、あ
なたに聞きたいことがある。



佐賀東高校の演劇部17人は、日本初の鉄道事業などを手掛けた大隈の生涯を演じ、亡くな
ってから100年経った今、その功績とともに日本の近代化を進めた熱い思いを伝
えています。ぜひ、心を震わせ、感動の渦に身をゆだねてください。

*図書館に「大隈重信自叙伝」の本がありますので興味がある方は、どうぞ！

《クラス読書会について》



クラス読書会が11月2日(火)・11月9日(火)の二回に渡って行
われます。そこで今回はテキストの紹介をします。

テキストが配布されたら、読みながら印象深い場面や疑問点など、自
分の思いをメモして下さい。文字にすることで自分の心の中の思いを整
理できるし、今まで気づかなかった自分の一面を発見できるかもしれま
せん。

『塩狩峠』 三浦 綾子【著】新潮文庫

〈1年生〉



結納のため、札幌に向かった鉄道職員永尾信夫の
乗った列車は、塩狩峠の頂上にさしかかった時、突
然客車が離れて暴走し始めた。

声もなく恐怖に怯える乗客。信夫は飛びつくよう
にハンドブレーキをかけた…。明治末期、北海道旭
川の塩狩峠で自らを犠牲にして大勢の乗客の命を
救った一青年の、愛と信仰に貫かれた生涯を描き、
生きることの意味を問う物語。

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

〈2年生〉

ブレイディ みかこ【著】新潮文庫



イギリス在住、著者のブレイディみかこさんの息子
は、のどかで牧歌的な小学校から「元底辺中学校」と
呼ばれる、ヤンキーやら犯罪まがいのことをする子供
たちがいる中学校に入学した。そこで彼が見たもの
とは？渦巻く「差別」の波をかいくぐり、日本人の私
たちも他人事では済まされない、学生も大人も必読のイ
ギリス版スクール・ウォー。



新刊図書案内

☆「岩波ブックレットの紹介」☆

図書館では、毎月1冊～2冊の頻度で入荷しています。

小論文の対策は、目どりの情報収集から！！

3年生、必見です！学年文庫にも岩波ブックレットも入れ替えを行っています。ぜひ活用ください。

《岩波ブックレットの特徴》

- 1冊70ページほどの薄い本です。
- 社会の様々なジャンルごとに色分けされています。
- 最新の情報が手に入ります。少ないページ数でも充実の内容です。
- 「新書は読むのが大変」「時間がないからパパッと読みたい人」にオススメ。



気候危機

山本 良一

『気候危機』 山本 良一【著】

気候変動から気候危機へ。
パリ協定の本格始動を機に、最新の科学の知見を踏まえ、今何をすべきかを説く。

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー(2)』

(ブレディみかこ)

変わりゆく時代の中で、大切なことは何か。13歳になった「ぼく」の日常は、私たちに問いかける。そして親離れの季節がやってきた **80万人が読んだ成長物語、ついに完結。**



祖父から引継いだガラス工房。兄妹2人の10年の物語。



『ガラスの海を渡る舟』(寺地はるな)

正反対の性格である二人は互いに苦手意識を抱いていて、祖父の遺言で共に工房を引き継ぐことになってからも、衝突が絶えなかった。そんなガラス工房に、ある客からの変わった依頼が舞い込む。それは、「ガラスの骨壺が欲しい」というもので…。

【小説】

『ひと』(小野寺史宜) 2019年本屋大賞第2位。一人きりの若者がいかに生きるか問う。

『medium 霊媒探偵城塚翡翠』(相沢沙呼) ミステリー好きな人お薦め！

『月曜日の抹茶カフェ』(青山美智子)「木曜日にはココアを」待望の続編

『生きてさえいれば』(小坂流加) 本当に伝えなかった想いの使った感動の遺作

『マザー・テレサ あふれる愛』(沖 守弘)

『夜が明けたら、いちばんに君に会いにいこう』(汐見夏衛)

『夜空に泳ぐチョコレートグラミー』(町田そのこ)

『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出合った話』(森田碧)

『さよならも言えないうちに』(川口俊和)「コーヒーが冷めないうちに」シリーズ第4弾

『リボルバー』(原田マハ) ゴッホとゴーガンへの愛が溢れたアートミステリー。

『ロボット・イン・ザ・ガーデン』(デボラ・インストール)主演：二宮和也 2022年夏映画化

『確率捜査官 御子紫岳人 ファイアーゲーム』(神永学)

『その白さえ嘘だとしても』(河野 裕)

『汚れた赤を恋と呼ぶんだ』(河野 裕)

『凶器は壊れた黒の叫び』(河野 裕)

『夜空の呪いに色はない』(河野 裕)

『きみの世界に、青が鳴る』(河野 裕)

「いなくなれ、群青」
続編全巻

『巴里マカロンの謎』(米澤穂信) 11年ぶりの人気シリーズ「スイーツ」謎ミステリー

『ヒトコブラクダ層ぜつと(上)(下)』(万城目学) 冒険物語。

『ゲノム編集からはじまる新世界—超先端バイオ技術がヒトとビジネスを考える』(小林雅一)



これからますます注目されるゲノム編集技術の最先端の動きと具体的な事例、日本の大学や産業界の取り組みを紹介。

【新書】

『僕はミドリムシで世界を救うことに決めた。』(出雲充)

『魚が食べられなくなる日』

(勝川俊雄)

『はじめの構造主義』

(橋爪 大三郎)

『ムツリーニの正体 ヒトラーが師と仰いだ男』(舛添要一)

『新世界秩序と日本の未来—米中の狭間でどう生きるか』

(内田樹/姜尚中)

『なぜ世界を知るべきなのか』

(池上彰)

これら以外にも今話題の本や理系の本などたくさんの新着が入っています。気になる人は図書館までどうぞ！



★10月27日(水)～11月9日(火)まで、秋の読書週間が始まります。★

図書館で、“自分だけのオリジナル付箋つきしおり”&“ブックカバー”を一緒に作りませんか？

実施期間：10月27日～11月12日まで、開催時間：16時半～17時半まで ぜひ、図書館で待っています♪

新刊図書

「読書の秋」というように、心地よい秋の到来です。
1冊の本から得られる気づきや学びはたくさんあります。どんなジャンルであっても、
本が好きな人はもちろん、普段あまり本を読まない人も、秋の夜長、月と共に読書を楽しんでください。

- 最悪の予感 パンデミックとの戦い マイケル・ルイス【著】/中山宥【訳】
紛争地の看護師 白川優子
科学のミカタ 元村有希子
ニュートン式超図解 最強に面白い！！超ひも理論 橋本幸士
ニュートン式超図解 最強に面白い！！相対性理論 佐藤勝彦
池上彰の世界の見方 中東一混迷の本当の理由 池上彰
往復書籍 無目的な思案の応答 又吉直樹・武田砂鉄
渋沢栄一 100の金言 渋澤 健
渋沢栄一 100の訓言 「日本資本主義の父」が教える黄金の知恵 渋澤 健
知の旅は終わらない—僕が3万冊を読み100冊を書いて考えてきたこと 立花 隆
知的ヒントの見つけ方 立花 隆
ぼくらの頭脳の鍛え方—必読の教科書400冊 立花 隆/佐藤 優
精神と物質—分子生物学はどこまで生命の謎を解けるか 立花 隆/利根川 進
護られなかった者たちへ 中山七里
建築家になりたい君へ 14歳の世渡り術 隈 研吾
プラス1cm たった1cmの差があなたの世界をがらりと変える ウンジュ・キム
他者の靴を履く—アナーキック・エンパシーのすすめ プレイディみかこ

